



家庭学習の すすめ



こども がくりよく こうじょう しゅたいてき がくしゅう と く たいど いくせい
子供たちの学力の向上には、「主体的に学習に取り組む態度」の育成
が必要。そのためには、学校での学習だけでなく、家庭での学習
かぞく かが たいせつ
や家族の関わりがとても大切です。

ちしき ぎのう ていちゃく はか さまざま かつどう とお ちてきこうきしん
知識・技能の定着を図るとともに、様々な活動を通して知的好奇心
つちか きょうみ かんしん たか こども こえ はな あ
を培い、興味・関心を高められるよう、子供に声をかけたり話し合っ
たりすることで、家庭学習の内容を充実させましょう。

- ※ 「主体的に学習に取り組む」とは、次のような姿です。
- ねば つよ がくしゅう と く ・粘り強く学習に取り組む
 - つぎ すた がくしゅうかつどう ふ かえ つぎ がくしゅう ・これまでの学習活動を振り返って次の学習につなげる

ほごしゃ はたら こども い ちから はくく
保護者の働きかけが、子供たちの「生きる力」を育む
おお げんどうりよく
大きな原動力になります。

ほごしゃ はたら こども がくりよく たか けいこう
保護者の働きかけがある子供の学力は高いという傾向があります。
(平成29年度全国学力・学習状況調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究)

たとえば……

がっこう ともだち ちいき しゃかい
学校や友達のこと、地域や社会の
できごとなど家庭での会話がが多い。



テレビ・ビデオ・DVDを見る時間
などのルールを決めている。



テレビゲーム(スマートフォンなどの利
用を含む)をする時間を限定している。



こども ほん しんぶん よ
子供に本や新聞を読むようにすす
めている。



こども さいご め たいせつ
子供に最後までやり抜くことの大切
さを伝えている。



ちいき しゃかい こうけん ひと やく
地域や社会に貢献するなど人の役に
立つ人間になることを重視している。



「主体的に学習に取り組む態度」を育てましょう

～一人一人に応じた家庭学習の充実～

子供の成長には個人差があります。子供の様子に応じて声をかけられるよう、ホップ・ステップ・ジャンプの3つの段階に分け、保護者の関わり方や学習例を示しました。

家庭学習の習慣を身に付ける

ホップ

ほめて、やる気をおこす

がんばっていることやよいところをほめ、やる気を高めましょう。

こんな一言を

- ◎時間を決めて勉強できているね。
- ◎すごいね。
- ◎大きな声で音読しているね。上手になったね。
- ◎九九をすらすら言えるようになったね。
- ◎ノートにしっかり書けているね。



学ぶ楽しさを感じる

ステップ

認めて、自信をつける

できるようになったことや努力していることを認め、自信をもたせましょう。

こんな一言を

- ◎何回も練習したから、間違えずに計算できるようになったね。
- ◎この地図、分かりやすくなったね。
- ◎インターネットで素早く調べられるようになったね。
- ◎家族のために作ってくれた野菜炒め、おいしかったよ。



目的をもって計画的に取り組む

ジャンプ

見守って、伸ばす

自分から進んで取り組んでいる姿や、計画的に学習に取り組む姿を認め励まし、主体性を育てましょう。

こんな一言を

- ◎難しい課題に挑戦しているね。
- ◎いつも自分で計画を立てて勉強ができていますね。
- ◎集中して取り組む時間がだんだん長くなってきたよ。
- ◎目標に向かってがんばっているね。



自主学習例

とくかくしゅう 自主学習

- ・漢字や計算の練習に繰り返し取り組む。
- ・言葉のまとまりに気を付けて、はっきりした声で音読する。
- ・地図上で都道府県の位置を確認し、都道府県名を漢字で書く。
- ・授業で習ったことについて振り返り、大切な用語や内容を整理してノートに書く。



自主学習例

なら 習ったことや興味・関心を生かした学習

- ・算数の文章問題を考え、自分で解いたり、家族や友達に出題したりする。
- ・地図記号を使って、近所や通学路の地図をかく。
- ・植物や動物が成長する様子を教科書で確認したり、インターネットで調べたりして、成長記録ノートを作る。
- ・家庭科で学習したこと（調理、洗濯など）を実践し、気付いたことについて家族と話をする。



自主学習例

じぶんか 自分で考えて粘り強く取り組む学習

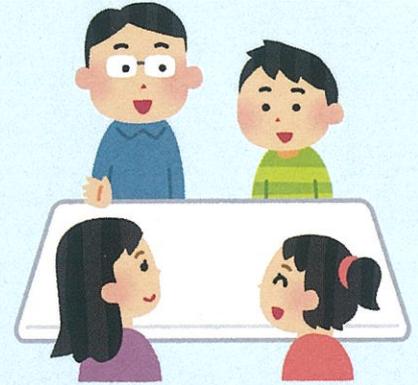
- ・音読や英語スピーチなどの発表会やリコーダー演奏会に向けて、よりよくしようとして修正点を見付け、練習する。
- ・自分で課題を見付け、調査活動や観察・実験などに取り組む、調べた結果や考察を書く。
- ・間違えた問題の類似問題に取り組み、今後注意することをポイントとしてノートに書く。
- ・明日の授業内容に関係する部分を教科書で確認する。



親子で話し合ってみましょう

主体的に学習に取り組む態度が身に付くよう、家庭での生活について親子で一緒に確認してみましょう。

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 朝食を毎日食べている。
- 学習道具（筆箱の中など）は整っている。
- 読書をする習慣が身に付いている。
- 時間や場所を決めて学習している。
- テレビやゲーム、ネット、携帯電話（スマホ）の時間などのルールを決めている。
- 親子でいろいろな話をしている。
(学校や友達のこと・地域や社会の出来事・将来の夢や目標など)



学習に取り組む時間帯を親子で一緒に考え、表に書き入れてみましょう。

【学習に取り組む時間帯の例】

- ・学校から帰ってすぐに
- ・夕食後に
- ・朝食前に



学習時間は、各学校で示されている目安の時間を参考に設定しましょう。

【じぶんのけいかく（じゅぎょうがあるひ）】

ご ぜ ん												ご ご									
5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				

【じぶんのけいかく（やすみのひ）】

ご ぜ ん												ご ご									
5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				